

令和7年度 研修講座案内



福島県特別支援教育センター



令和7年度 福島県特別支援教育センター研修講座案内

「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進する福島県では、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の一層の拡充が期待されています。

そのため、特別支援教育に関する基礎的・専門的な研修を行うとともに、福島県の特別支援教育の充実・発展に資するよう研修を実施していきます。

◆研修講座一覧(令和7年度)◆

| 研修会の名称 | | 期 日 | 場 所 |
|--------------------|------------------------|---|---|
| 基本 研 修 | 初任者研修 | 一般研修 4月9日～10日 カウンセリング研修 6月3日～4日 一次研修 7月23日～25日 教育課程別研修 9月3日 学部別研修 11月5日 二次研修 2月3日～5日 | コミュニティ福島* 特別支援教育センター 各校・磐梯青少年交流の家・特別支援教育センター 初任者配置校 初任者配置校 各校・特別支援教育センター |
| | 2年次教員 フォローアップ 研修 | 教科等指導研修 8月20日 | 特別支援教育センター |
| | 5年経験者 研修 | 全体研修 6月6日、9日、10日 [1班] 6月11日、12日、13日 [2班] | 各校・特別支援教育センター 各校・特別支援教育センター |
| | 中堅教諭等 資質向上 研修 | 共通研修 6月18日～20日 [1班] 6月24日～26日 [2班] | 各校・特別支援教育センター |
| | | 教科等指導研修 1月14日～15日 [1班] 1月19日～20日 [2班] | 特別支援教育センター |
| ◇詳細は各特別支援学校へ通知します。 | | | |

*福島県環境創造センター交流棟「コミュニティ福島」

| 研修会の名称 | | 期 日 | 対 象 |
|-----------------------------|-------|-----------------------------------|---|
| 特別支援学級等 新任担当教員研修会 | 共通研修 | 4月17日：県北・会津・南会津 4月23日：県中・県南・相双 | ○共通研修は新たに特別支援学級担任及び通級による指導の担当者になった教諭、常勤講師 |
| | 地区別研修 | 10月中旬～下旬 ※共通・地区別各1日 | ○地区別研修は、初めて特別支援学級の担任になった教諭、常勤講師 |
| 小・中学校特別支援教育 コーディネーター研修会 | | 5月中旬～下旬 各地区開催 | ○小・中学校の特別支援教育 コーディネーター |
| 高等学校特別支援教育 コーディネーター研修会 | | 5月13日：県北・会津・南会津・相双 ※他地区はR8に実施 | ○高等学校の特別支援教育 コーディネーター |
| 特別支援学校特別支援教育 コーディネーター研修会 | | 5月14日 | ○特別支援学校の特別支援教育 コーディネーター |
| 通級指導教室担当教員研修会 | | 7月16日 | ○通級による指導の担当の経験が通算 2年目までの教諭、常勤講師 |
| 特別支援学校訪問教育・医療的 ケア担当教員研修会 | | 7月31日 | ○県立特別支援学校の訪問教育、 医療的ケア担当の教諭 |
| 特別支援学校 教務主任・研修主任研修会 | | 5月30日 1月27日 | ○県立特別支援学校・分校24校 教務主任及び研修主任 |
| 特別支援学校自立活動の指導実 践研修会 | | 5月28日 1月22日 | ○県立特別支援学校で自立活動 の指導的な立場の教諭 |
| ◇詳細は各学校へ通知します。 | | | |

| | 研修講座名 | 期日 | 対象〔定員〕 |
|--|--|-------------------------|---------------------------------|
| 専 門 | 発達障がいのある子どもの基礎的な理解と対応 ～「気付く」から始めよう～ | 7月9日 | 幼保こ・小・中・高 〔30名〕 |
| | 発達障がいのある子どものライフステージに応じた指導と支援 ～豊かな現在（いま）を未来へつなぐ～ | 8月7日 | 幼保こ・小・中・高 〔30名〕 |
| | 教育相談（基礎編） ～わかり合うところがスタートライン～ | 8月1日 8月5日 ※希望日を選択 | 幼保こ・小・中・高 特 〔60名〕 |
| | 教育相談（応用編） ～チームでつくる笑顔の相談～ | 9月9日 | 幼保こ・小・中・高 特 〔30名〕 |
| | 指導に生かすアセスメント ～もっと知りたい 子どもたちのこと～ | 7月15日 | 幼保こ・小・中・高 特 〔30名〕 |
| | 子どもの豊かな学びと生活を支える「教育的ニーズの整理」 ～やってみよう！ケース会議～ | 9月17日 | 幼保こ・小・中・高 特 〔30名〕 |
| | 特別支援学級の授業の充実 ～実態把握を生かした授業や学級経営～ | 9月4日 | 小・中 (特別支援学級) 〔30名〕 |
| | 自立活動の指導の充実（小学校、中学校、高等学校編） ～中心的な課題を導き出す～ | 7月2日 | 小・中・高 (通級・特別支援学級担当) 〔30名〕 |
| | 自立活動の指導の充実（特別支援学校編） ～主体的な学びに向けた指導内容の設定～ | 9月25日 | 特 〔30名〕 |
| | 特別支援学校における教科指導の充実 ～知的障がい国語編～ | 9月11日 | 特 〔30名〕 |
| 研 修 | 重度・重複障がいのある子どもの学びの充実 ～思いに寄り添う指導・支援に向けて～ | 7月11日 | 特 〔30名〕 |
| | 特別支援学校における授業の充実 ～確かな学びに向かう授業づくり～ | 9月5日 | 特 〔30名〕 |
| | 子どもの可能性や個性を伸ばす進路指導 ～思いと向き合い将来へつなげる～ | 9月30日 | 特 〔30名〕 |
| | 授業におけるICTの活用 ～主体的な学びを支える実践の共有～ | 8月6日 | 特 〔30名〕 |
| <p>◇ 上記の専門研修講座については、各講座実施要項、資料1「福島県特別支援教育センター専門研修一覧」、「令和7年度福島県特別支援教育センター研修講座一覧」を参照してください。</p> <p>◇ 各研修講座において、対象となる校種を示しています。定員を超えない場合は、対象校種以外からの申し込みも受講可能とします。</p> | | | |

| 公 開 講 座 名 | | 期 日 |
|--|---|-------------------------|
| 公 開 講 座 | 1 「医師の立場から学校（園）の先生方に伝えたい 発達障がいの子もたちの困難さと支援の視点」 講師 福島県発達障がい者支援センター 科部長 伊瀬 陽子 氏 | 7月9日(水) 13:15～15:45 |
| | 2 「発達障がいのある子どもの充実した現在と 豊かな未来のために」 講師 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員 井上 秀和 氏 | 8月7日(木) 13:15～15:30 |
| | 3 「子どもたちが思いを伝えたい人になるために」 講師 福島県立医科大学 看護学部 小児・精神看護学部門 講師 佐藤 利憲 氏 | 9月9日(火) 13:30～15:45 |
| | 4 「特別支援学級の授業の充実」 講師 植草学園短期大学 特別教授 佐藤 慎二 氏 | 9月4日(木) 13:15～15:40 |
| | 5 「重度・重複障がいのある幼児児童生徒の理解と 授業づくり」 講師 宇都宮大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻 教授 岡澤 慎一 氏 | 7月11日(金) 13:20～15:45 |
| | 6 「これからの特別支援学校の授業の在り方」 講師 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 上席総括研究員（兼）センター長 長江 清和 氏 | 9月5日(金) 13:10～15:45 |
| | 7 「特別支援教育における学びの充実のためのICT活用」 講師 東北福祉大学 教育学部 教育学科 初等教育専攻 准教授 杉浦 徹 氏 | 8月6日(水) 13:00～15:45 |
| ◇ 公開講座はオンライン（Zoom）受講となります。 ◇ 公開講座はPlant 又は本センターのWeb サイトからの申し込みとなります。申し込み方法は、7ページに記載していますので、ご確認ください。 ◇ 公開講座の講義題は変更となる場合があります。 | | |

◆◆ 研修講座受講手続き ◆◆

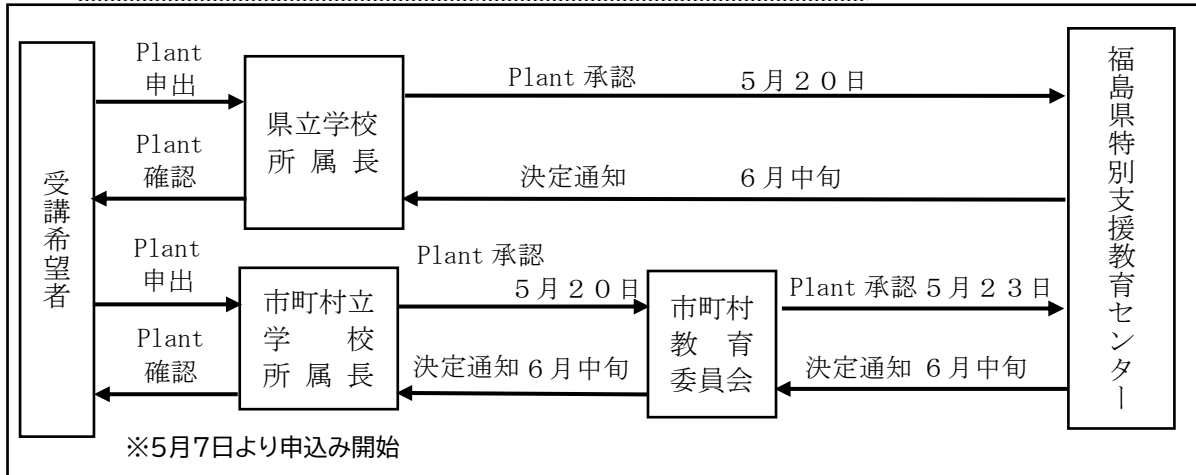
専門研修講座

※公開講座のみを希望する場合は、7 ページをご覧ください。

受講希望者は、該当する申込み方法を確認し、下記のとおり手続きをしてください。

1 Plant での申込み（市町村立小・中学校、特別支援学校、県立学校）

※ 郡山市及びいわき市については、専門研修の対象になりませんのでご注意ください。



(1) 受講を希望する方は、所属長と確認の上、Plant（全国教員研修プラットフォーム）を利用して、各自申込みを行ってください。「研修講座案内」は、本センターの Web サイトからダウンロードできます。

一人3講座まで申込みができます。（3講座以上申込みがあった場合は、本センターで減らす場合があります）申込み講座に優先順位をつけることはできません。

※ できる限り希望者全員が受講できるように努めていますが、定員（30名）を超えた場合は調整となります。申込講座すべてが受講可になる場合もあります。受講決定後のキャンセルがないように、学校行事等、各自スケジュールを確認してから申込みをしてください。

5年経験者研修・中堅教諭等資質向上研修の対象者

※ 講座の必要数を調整するため、Plant による申込みと並行して、本センター Web サイト上から Google フォーム「専門研修の希望調査」を用いて、**本センターでの受講が必要な講座の希望数及び希望する講座（希望数+2講座）**を提出してください。

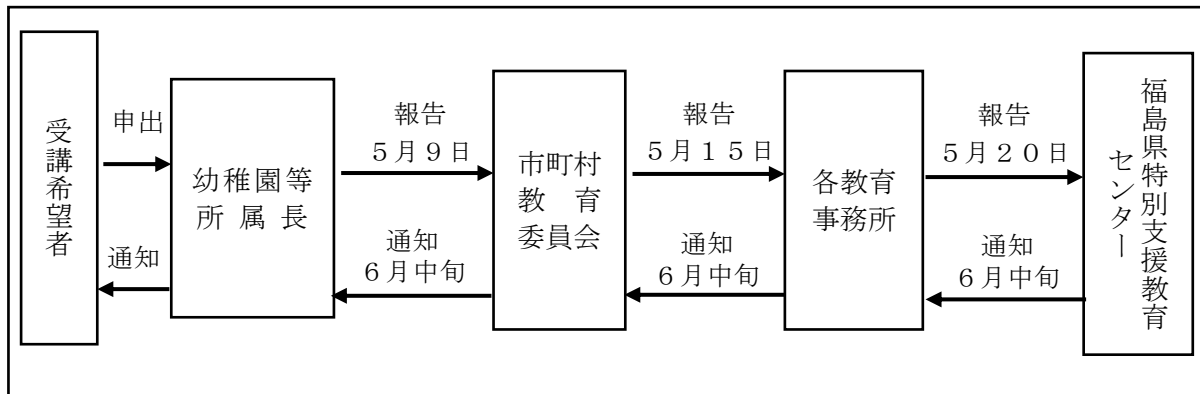
※ 申込みの際は、所属長に報告し承認を得るようにしてください。また、Plant の申込み内容と同じになるよう注意してください。

専門研修の希望調査締め切り：5月13日（火）

- (2) 所属長は、設定された期日までに、受講希望者の承認手続きを行ってください。
- (3) 受講決定については、6月中旬までに所属長宛てに文書で通知します。受講の可否を各自、Plant 上で確認してください。
- (4) **合理的配慮の提供を必要とする場合**は、受講申込みの際に Plan 研修申込ページの「申し送り事項」欄に必要とする内容を記載してください。受講決定になりましたら「**研修における配慮申請書**」（様式3）の提出をお願いします。申請内容を踏まえて検討し、後日、決定した提供内容をお知らせします。
- (5) 旅費については「指定研修旅費」として、一般旅費とは別に各学校に配分されます。そのため、各講座が定員あるいは予算を超えた場合には、受講できないこともありますのでご了承ください。**常勤講師は、講座の定員を超えない限り研修の対象とし、指定研修旅費を配分します。**

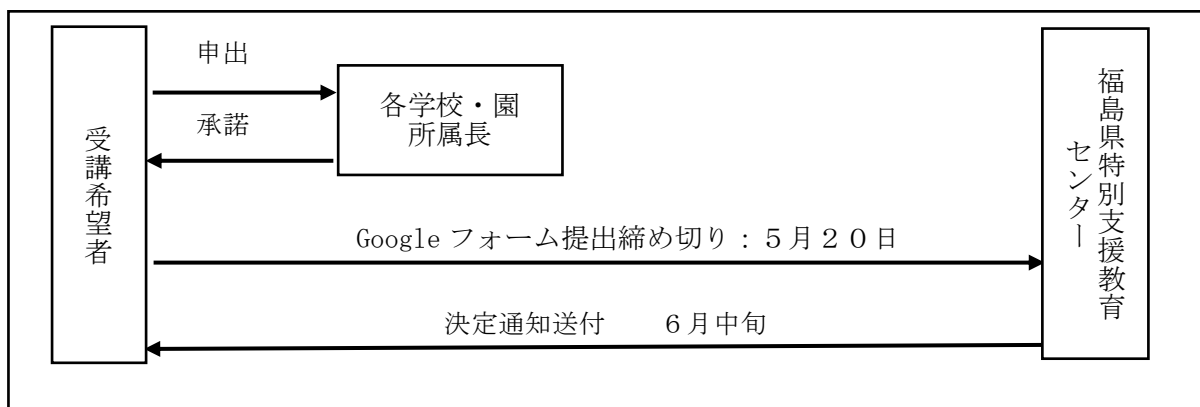
2 「受講者推薦者名簿」での申込み（公立幼稚園）

※ 公立の保育所、認定こども園で市町村教育委員会が幼稚園と合わせて希望のとりまとめを行う場合を含みます。



- (1) 受講を希望する方は、所属長に申出を行い、所属長は「受講推薦者名簿」（様式1）を市町村教育委員会へ送付してください。「各種様式」「研修講座案内」は、本センターのWebサイトからダウンロードできます。
一人3講座まで申込みができます。講座に優先順位はつけられません。
- ※ できる限り希望者全員が受講できるように努めていますが、定員（30名）を超えた場合は調整となります。希望講座すべてが受講可になる場合もあります。受講決定後のキャンセルがないように、学校行事等、各自スケジュールを確認してから申込みをしてください。
- (2) 市町村教育委員会及び各教育事務所は、設定された期日までに、受講推薦者の報告を行ってください。
- (3) 受講の可否については、各教育事務所から市町村教育委員会を経由して、6月中旬までに所属長宛てに文書で通知します。
講座に関する連絡や資料配付は Google Classroom を通して行います。利用にあたっては、Google アカウントが必要になりますのでご準備ください。
- (4) 合理的配慮の提供を必要とする場合は、受講申込みの際に「受講推薦者名簿」（様式1）の「備考」欄に必要とする内容を記載してください。受講決定になりましたら「研修における配慮申請書」（様式3）の提出をお願いします。申請内容を踏まえて検討し、後日、決定した提供内容をお知らせします。
- (5) 旅費については「指定研修旅費」の対象となりません。

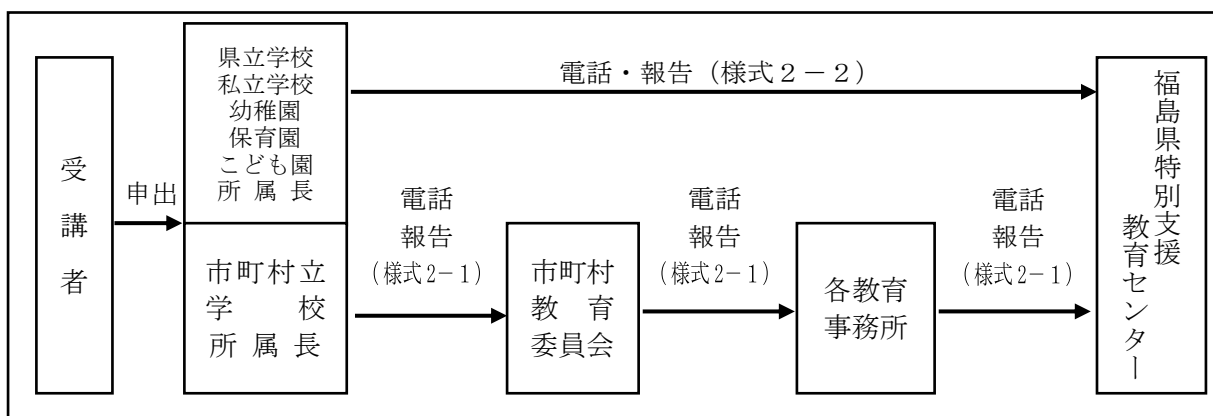
3 Google フォームでの申込み（私立幼稚園、保育所、認定こども園、Plant 利用のない学校）



- (1) 受講を希望する方は、所属長と確認の上5月20日までに、Googleの提出フォーム「専門研修申込フォーム」を用いて、各自申し込みを行ってください。「申込フォーム」「研修講座案内」は、本センターのWebサイトからダウンロードできます。
提出フォームは、1人ずつフォームに入力する形式ですので、受講希望者1名ずつ申込み手続きをしてください。一人3講座まで申込みができます。(4講座以上申込みがあった場合は、本センターで減らす場合があります)申込み講座に優先順位をつけることはできません。
※ できる限り希望者全員が受講できるように努めていますが、定員(30名)を超えた場合は調整となります。希望講座すべてが受講可になる場合もあります。受講決定後のキャンセルがないように、学校行事等、各自スケジュールを確認してから申込みをしてください。
- (2) 受講の可否は、6月中旬までに直接メールで通知します。
講座に関する連絡や資料配付はGoogle Classroomを通して行います。利用にあたっては、Googleアカウントが必要になりますのでご準備ください。
- (3) **合理的配慮の提供を必要とする場合**は、受講申込みの際に「専門研修申込フォーム」の「備考」欄に必要とする内容を記載してください。受講決定になりましたら**「研修における配慮申請書」(様式3)の提出をお願いします。**申請内容を踏まえて検討し、後日、決定した提供内容をお知らせします。
- (4) 旅費については「指定研修旅費」の対象となりません。

◆専門研修受講に関する変更についての手続き◆

受講に関する変更が生じた場合は、以下のとおり手続きしてください。



- (1) 受講者は、速やかに所属長に申出てください。
- (2) 県立学校・私立学校・幼稚園・保育園・こども園は、速やかに本センターに電話で報告した後、「受講に関する変更について」(様式2-2)により、本センターに報告してください。
- (3) 市町村立学校は、速やかに市町村教育委員会に電話で報告した後、「受講に関する変更について」(様式2-1)により、市町村教育委員会へ報告してください。

※ 不明な点がありましたら事前にご相談ください。

相談先

福島県特別支援教育センター

E-mail: special-center@fcs.ed.jp

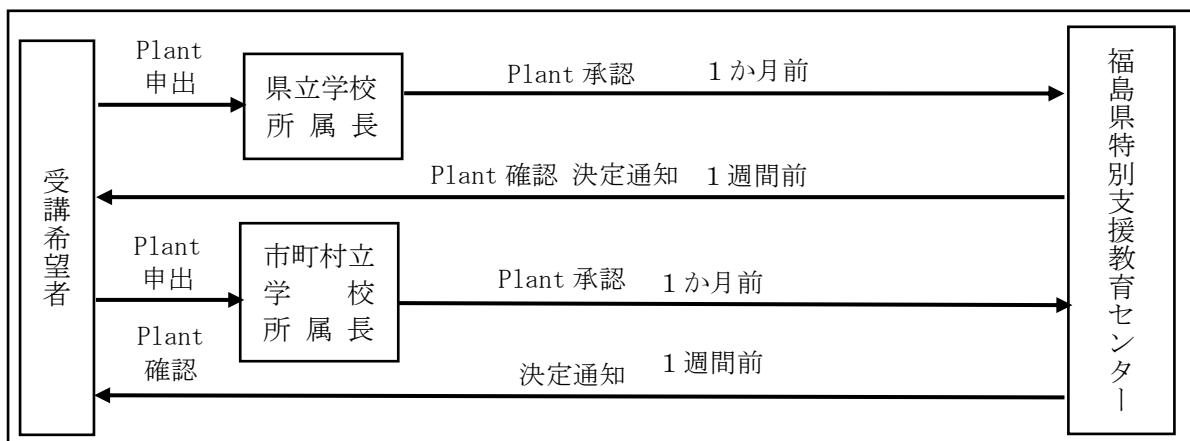
電話：024-952-6497 担当：企画事業部 研修係

公開講座 ※専門研修の一部をオンラインで受講

受講希望者は、下記のとおり手続きをしてください。

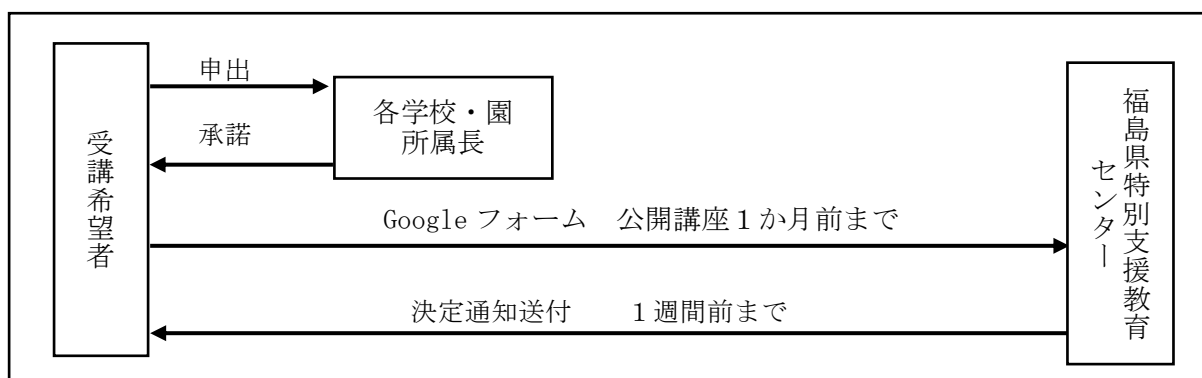
1 Plant での申込み（市町村立小・中学校、特別支援学校、県立学校）

※ 郡山市及びいわき市も対象になります。



- (1) 受講を希望する方は、所属長と確認の上、各公開講座開催日の**1か月前までに**、承認を得られるように Plant（全国教員研修プラットフォーム）を利用して、各自申込みを行ってください。「研修講座案内」は、本センターの Web サイトからダウンロードできます。
- (2) 各学校の所属長は、各公開講座開催日の**1か月前までに**、受講希望者の承認手続きを行ってください。
- (3) 受講決定は、公開講座当日の1週間前までに Plant から直接メールで通知します。専用ページへのアクセス、資料ダウンロード方法をご確認ください。
 ※ 各学校への連絡はありませんので、各自で忘れず確認してください。1週間前になってもメールが届かない場合は、管理職を通じて本センターへお問い合わせください。
- (4) **合理的配慮の提供を必要とする場合は**、受講申込みの際に Plan 研修申込ページの「申し送り事項」欄に必要とする内容を記載するとともに**1か月前までに「研修における配慮申請書」（様式3）の提出をお願いします**。申請内容を踏まえて検討し、後日、決定した提供内容をお知らせします。
- (5) 受講決定後のキャンセルがないように、各自スケジュールを確認してから申込みをしてください。

2 Google フォームでの申込み（Plant 利用のない機関共通）



- (1) 受講を希望する方は、所属長と確認の上、各公開講座開催日の**1か月前までに**、本センターWebサイトから**公開講座申込フォーム**を開き、必要事項を記入して申し込んでください。「研修講座案内」は、本センターのWebサイトからダウンロードできます。
- (2) 受講決定は、公開講座当日の1週間前までに直接メールで通知します。専用ページへのアクセス、資料のダウンロード方法をご確認ください。
- (3) **合理的配慮の提供を必要とする場合**は、受講申込みの際に「公開講座申込フォーム」の「備考」欄に必要とする内容を記載するとともに**1か月前までに**「**研修における配慮申請書**」（様式3）の提出をお願いします。申請内容を踏まえて検討し、**後日、決定した提供内容をお知らせ**します。

◆公開講座の受講に関する変更についての手続き◆

受講決定後のキャンセルがないように、各自スケジュールを確認してから申込みをしてください。受講に関する変更が生じた場合は、所属長を通じて、直接、本センター企画事業部研修係主任指導主事までご連絡ください。

※ 不明な点がありましたら事前にご相談ください。

相談先

福島県特別支援教育センター

E-mail: special-center@fcs.ed.jp

電話：024-952-6497 担当：企画事業部 研修係

| No. | 研修会又は講座の名称 (校種) [研修予定人数] | 場 期 所 日 | 研修 日数 | 目 的 | 内 容 |
|-----|---|---|----------|--|---|
| 1 | 発達障がいのある子どもの基礎的な理解と対応 ～「気付く」から始めよう～ (幼保こ・小・中・高) [30名] | 特別支援教育 センター 7月 9日 | 1日 | 発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と適切な対応の仕方について研修を行い、教員としての専門性の向上を図る。 | ●発達障がいの特性の理解 (事前動画視聴) ●行動の背景・要因を探り、指導・支援を考える (講義・演習) ●医師の立場から考える発達障がいの子どもの困難さと支援の視点 (外部講師による講義) |
| 2 | 発達障がいのある子どものライフステージに応じた指導と支援 ～豊かな現在 (いま) を未来へつなぐ～ (幼保こ・小・中・高) [30名] | 特別支援教育 センター 8月 7日 | 1日 | 発達障がいのある幼児児童生徒のライフステージに応じた指導や支援、引継ぎの在り方について研修を行い、幼児児童生徒理解を深めるとともに、指導力の向上を図る。 | ●発達障がいのある子どものライフステージに応じた指導と支援 (講義) ●発達障がいのある子どもの指導と支援の実際 (協議) ●発達障がいのある子どもの充実した現在と豊かな未来のために (外部講師による講義) |
| 3 | 教育相談 (基礎編) ～わかり合うところがスタートライン～ (幼保こ・小・中・高・特) [60名] | 特別支援教育 センター 8月 1日 8月 5日 ※希望日を選択 | 1日 | 特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒やその保護者との教育相談の基本姿勢についての理解を深め、実践力の向上を図る。 | ●子どもを理解しようとする (講義) ●本人を支える保護者を理解しようとする (講義) ●教育相談で大切にしたいこと、教育相談の進め方 (講義・演習) |
| 4 | 教育相談 (応用編) ～チームでつくる笑顔の相談～ (幼保こ・小・中・高・特) [30名] | 特別支援教育 センター 9月 9日 | 1日 | 様々な幼児児童生徒や保護者の相談に対して、校内体制を活かして、情報を整理し、対応する力の向上を図る。 | ●組織的な教育相談とは (講義) ●教育相談に臨むためのケース会議の進め方 (講義・演習) ●子どもたちが思いを伝えたい人になるために (外部講師による講義) |
| 5 | 指導に生かすアセスメント ～もっと知りたい子どもたちのこと～ (幼保こ・小・中・高・特) [30名] | 特別支援教育 センター 7月15日 | 1日 | 検査報告書の読み取り方を含む、幼児児童生徒の実態の捉え方について理解をし、日々のかかわり合いや授業への生かし方について考えることで、実践力の向上を図る。 | ●子ども理解について (講義) ●心理アセスメントの活用 (講義) ●検査報告書を読んでみよう、指導・支援策の再検討をしよう (演習) |
| 6 | 子どもの豊かな学びと生活を支える「教育的ニーズの整理」 ～やってみよう！ケース会議～ (幼保こ・小・中・高・特) [30名] | 特別支援教育 センター 9月17日 | 1日 | 幼児児童生徒に適切な指導及び必要な支援を提供していくための教育的ニーズの整理について理解を深め、特別支援教育の実践力の向上を図る。 | ●教育的ニーズとは (事前動画視聴) ●幼児児童生徒の教育的ニーズの整理 (演習) ●やってみよう！ケース会議 (協議) |
| 7 | 特別支援学級の授業の充実 ～実態把握を生かした授業や学級経営～ (小・中 特別支援学級) [30名] | 特別支援教育 センター 9月 4日 | 1日 | 特別支援学級の授業づくりや学級経営に関わる実践的事項の研修を通して、専門性の向上を図る。 | ●特別支援学級の教育課程と授業づくり (講義) ●資料を使用しての対話と省察 (協議) ●特別支援学級の授業の充実 (外部講師による講義) |

| | | | | | |
|----|---|---------------------|----|---|---|
| 8 | 自立活動の指導の充実（小学校、中学校、高等学校編） ～中心的な課題を導き出す～ （小・中・高 通級担当又は特別支援学級担任） [30名] | 特別支援教育センター 7月 2日 | 1日 | 収集した情報から指導すべき課題を整理し、指導目標を設定する研修を通して、自立活動に関する指導力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自立活動の指導の基本（事前動画視聴） ●自立活動の指導目標と指導内容の改善（講義・演習） ●一人一人の実態に応じた指導（講義） ●自立活動の指導目標と指導内容の改善（演習） |
| 9 | 自立活動の指導の充実（特別支援学校編） ～主体的な学びに向けた指導内容の設定～（特） [30名] | 特別支援教育センター 9月25日 | 1日 | 自立活動の指導内容や指導方法の改善に向けた講義、実践発表、授業実践の協議を通して、効果的な指導について探究するとともに、自立活動の指導力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自立活動の指導の充実（講義） ●一人一人の実態に応じた指導をするための工夫（実践発表） ●自立活動の指導の工夫と評価（協議） |
| 10 | 特別支援学校における教科指導の充実 ～知的障がい国語編～ （特） [30名] | 特別支援教育センター 9月11日 | 1日 | 知的障がいのある児童生徒のための各教科について、文部科学省著作教科書の活用や各校の実践事例についての研修を通して、各教科の指導力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●知的障がいのある児童生徒の特性の理解と対応（講義） ●国語科の授業づくり（講義） ●国語科の指導の実際（協議） |
| 11 | 重度・重複障がいのある子どもの学びの充実 ～思いに寄り添う指導・支援に向けて～ （特） [30名] | 特別支援教育センター 7月11日 | 1日 | 重度・重複障がいのある幼児児童生徒の行動の見取りやかかわり合い、授業づくりについての研修を通して、指導力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●重度・重複障がいのある幼児児童生徒の授業づくり（講義） ●重度・重複障がいのある幼児児童生徒とのかかわりを考える（協議） ●重度・重複障がいのある幼児児童生徒の理解と授業づくり（外部講師による講義） |
| 12 | 特別支援学校における授業の充実 ～確かな学びに向かう授業づくり～ （特） [30名] | 特別支援教育センター 9月 5日 | 1日 | 特別支援学校における授業づくり及び評価、カリキュラム・マネジメントに関する研修を通して、授業構想や学習評価、組織的な取組に関する知識や実践力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校の授業づくりとカリキュラム・マネジメント（講義） ●学習評価の充実を図る（講義・演習） ●これからの特別支援学校の授業の在り方（外部講師による講義） |
| 13 | 子どもの可能性や個性を伸ばす進路指導 ～思いと向き合い将来へつなげる～ （特） [30名] | 特別支援教育センター 9月30日 | 1日 | 障がいのある児童生徒へのキャリア教育の在り方について理解を深め、対話を通して一人一人の主体的な進路選択につなげる指導力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校における進路指導の現状と課題（講義） ●進路指導に携わってきて、今、伝えたいこと（実践発表） ●対話によって築く進路指導（演習） ●卒業後の豊かな暮らしを実現するためには（協議） |
| 14 | 授業におけるICTの活用 ～主体的な学びを支える実践の共有～ （特） [30名] | 特別支援教育センター 8月 6日 | 1日 | 主体的な学習を支えるICT活用に関する研修を通して、ICT活用の実践力を高めるとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するための指導力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育におけるICTの活用（講義） ●ICTの効果的な活用に向けて（協議） ●特別支援教育における学びの充実のためのICT活用（外部講師による講義） |

※ 詳しい研修内容については、後日、本センターWebサイトに実施要項を掲載します。
それぞれの実施要項の目的部分には、福島県版「校長及び教員としての資質向上に関する指標【第2版】」の「特に向上を目指す資質・能力」の項目も標記してあります。

令和7年度 福島県特別支援教育センター専門研修 受講推薦者名簿(公立幼稚園・保育所・こども園用)

(様式1)

申込み方法

- (1) 一人3講座まで申込みできます。
- (2) 受講者が多く、定員・予算を超えた場合には、受講できないことでもありますので御了承ください。

| | |
|----|----|
| 地域 | 校種 |
|----|----|

※分からない場合は選択しなくて結構です。

| | |
|-------------|----------------|
| 所属 (学校名) | センター担当者 記入欄 |
|-------------|----------------|

※この欄の記載が決定通知の際の宛名となります。

| No. | 受講希望者情報 | | | 受講希望 | 備考 |
|-----|-----------|----|------------|------|----|
| | 学部 学級種 | 職名 | 氏名 ふりがな | | |
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注意 ① 自動処理するので列を増やさないでください。下の行が同じ内容でも「ッ」等の記号を使わず入力してください

② 合理的配慮が必要な場合は、備考欄に記入してください。受講決定になりましたら、様式3をご提出ください。

③ 定員を超えた場合は抽選となるため、受講決定後に欠席する場合は、代理の受講者をお願いします。

令和7年度 専門研修申込みフォーム

福島県特別支援教育センターの「令和7年度専門研修」申込み専用のフォームです。

📄 下書きを保存しました

* 必須の質問です

メールアドレス*

メールアドレス

学校代表メールアドレス*

※学校代表など「所属先の公的な連絡用メールアドレス」をご記入ください。

回答を入力

学校名*

回答を入力

連絡先電話番号*

※専門研修に関わる緊急の連絡時にものみ使用します。

回答を入力

職名*

回答を入力

申込み研修講座①

選択

受講希望者氏名 (漢字)*

回答を入力

申込み研修講座②

選択

受講希望者氏名 (ひらがな)*

回答を入力

申込み研修講座③

選択

連絡先メールアドレス*

※受講の可否についてご連絡します。個人メールなど「ご自身で連絡がつくメールアドレス」をご記入ください。アドレスに間違えがないようにご確認ください。

回答を入力

備考

合理的配慮の提供希望、その他、受講に関わる連絡事項等があればご記入ください。

回答を入力

受講の可否については、6月中旬までに登録しましてメールアドレス宛にご連絡します。

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

送信
フォームをクリア

本センターWeb サイト「研修講座案内」に申込フォーム (Google フォーム) があります。一人3講座まで申し込みができますが、受講者が多く、定員・予算を超えた場合には、受講できないこともありますので御了承ください。

(様式 2 - 1) 【市町村立学校用】

文 書 記 号 番 号
令和 年 月 日

福島県特別支援教育センター所長 様

〇〇〇〇立〇〇〇学校長 〇〇 〇〇

受講に関する変更について

福島県特別支援教育センターにおける研修の受講者として、先に決定のあった本校職員について、下記のとおり変更願います。

記

1 受講者氏名等

| | | | |
|--|------------------------------|-------------|----|
| 研修講座名 | | | |
| 研修期間 | 令和 年 月 日 () ~ 月 日 () | | |
| 受講者 | 職 名 | ふりがな 氏 名 | 性別 |
| | | | |
| 変更内容 | 欠席・遅刻・早退・取消・受講者変更 その他 () | | |
| 【受講者を変更する場合】 変更後の受講者の職・氏名 職名 () 氏名 () | | | |

2 変更事由

〈留意事項〉

変更しなければならない事由が生じた時点で、校長は市町村教育委員会教育長（担当者）に電話連絡する。市町村教育委員会教育長（担当者）は教育事務所長（担当者）に電話連絡し相談する。

教育事務所長（担当者）は特別支援教育センター所長（研修係主任）とその可否を協議し、変更が認められた場合、校長は変更届（様式 2 - 1）を市町村教育委員会教育長経由で教育事務所長に提出し、教育事務所長は特別支援教育センター所長に提出する。

なお、変更届（様式 2 - 1）は、電子データを電子メールで提出してもよいこととする。

(様式2-2) 【県立学校・私立学校用】

文 書 記 号 番 号
令和 年 月 日

特別支援教育センター所長 様

〇〇〇〇学校長

受講に関する変更について

特別支援教育センターにおける研修の受講者として、先に決定のあった本校職員について、下記のとおり変更願います。

記

1 受講者氏名等

| | | | |
|--|------------------------------|-------------|----|
| 研修講座名 | | | |
| 研修期間 | 令和 年 月 日 () ~ 月 日 () | | |
| 受講者 | 職 名 | ふりがな 氏 名 | 性別 |
| | | | |
| 変更内容 | 欠席・遅刻・早退・取消・受講者変更 その他 () | | |
| 【受講者を変更する場合】 変更後の受講者の職・氏名 職名 () 氏名 () | | | |

2 変更事由

〈留意事項〉

変更しなければならない事由が生じた時点で、校長は特別支援教育センター所長(研修主任)に連絡し、その可否について協議する。協議の結果、変更が認められた場合、校長は変更届(様式2-2)を特別支援教育センター所長に提出する。

なお変更届(様式2-2)は、電子データを電子メールで提出してもよいこととする。

研修における配慮申請書

申請日 令和 年 月 日

福島県特別支援教育センター所長 宛

貴センターが主催する研修を受講するに当たって、下記の通り配慮を申請します。

| | |
|---------|--|
| 所 属 | |
| 氏名（申請者） | |

1 対象となる研修

| 番号 | 研修講座名 | 研修日 |
|----|-------|----------|
| 1 | | 令和 年 月 日 |
| 2 | | 令和 年 月 日 |
| 3 | | 令和 年 月 日 |
| 4 | | 令和 年 月 日 |
| 5 | | 令和 年 月 日 |

2 希望する配慮とその理由

| 配慮を希望する場面 | 希望する配慮 | 配慮を希望する理由 |
|-----------|--------|-----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

福島県特別支援教育センター使用欄

決裁日 年 月 日

○上記の申請については下記の通り対応する。

| | | |
|----------|-----------|----------|
| 申請内容について | 申請の通り実施する | 協議の上調整する |
|----------|-----------|----------|

○協議、調整の経過

| 協議日 | 協議の内容・結果 | 研修担当者 |
|----------|----------|-------|
| 令和 年 月 日 | | |

○押印欄

| 所長 | 事務長 | 企画事業部長 | 主任 | 研修講座担当指導主事 |
|----|-----|--------|----|------------|
| | | | | |

研修における配慮申請書

申請日 令和〇年〇月〇日

福島県特別支援教育センター所長 宛

貴センターが主催する研修を受講するに当たって、下記の通り配慮を申請します。

| | |
|---------|-----------|
| 所 属 | 〇〇市立〇〇小学校 |
| 氏名（申請者） | 福島 太郎 |

1 対象となる研修

| 番号 | 研修講座名 | 研修日 |
|----|-----------------------------|----------|
| 1 | 「自立活動の指導の充実」 | 令和〇年〇月〇日 |
| 2 | 「特別支援学級の学級経営」 | 令和〇年〇月〇日 |
| 3 | 「小・中学校特別支援教育コーディネーター研修（県中）」 | 令和〇年〇月〇日 |
| 4 | | 年 月 日 |
| 5 | | 年 月 日 |

配慮を希望する研修講座についてすべてご記入ください。

2 希望する配慮とその理由

| 配慮を希望する場面 | 希望する配慮 | 配慮を希望する理由 |
|-----------|---|----------------------------|
| 講義 | ・ ロジャーを使用させてほしい | 聴覚障がいにより、日常的にロジャーを使用しているため |
| 協議 | ・ 手話通訳者をお願いしたい ・ 会場や座席について調整をお願いしたい。 | 聴覚障がいにより、話者の話が聞き取りにくいいため。 |

各研修講座の実施要項をご覧になり、配慮が必要な場面ごとにご記入ください。

福島県特別支援教育センター使用欄 決裁日 年 月 日

○上記の申請については下記の通り対応する。

| | | |
|----------|-----------|----------|
| 申請内容について | 申請の通り実施する | 協議の上調整する |
|----------|-----------|----------|

○協議、調整の経過

| 協議日 | 協議の内容・経過 | 研修担当者 |
|------|------------------------------------|-------|
| 令和 年 | 申請内容によっては、希望する配慮の詳細についてお尋ねしたり、希望する | |

○押印欄 配慮と提供できる配慮について協議させていただいたりする場合があります。

| | | |
|----|--------------------------------|-----|
| 所長 | なお、決定事項については、追って書面にてお知らせいたします。 | 専主事 |
|----|--------------------------------|-----|

